

2015年11月13日

世界ジオパークのユネスコ正式事業化にかかる記者発表

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

2015年11月3日から18日（現地時間）の日程で、フランスのユネスコ本部で開催されている第38回ユネスコ総会において、これまで、ユネスコの支援事業として行われてきた世界ジオパークネットワークの活動が、「国際地質科学ジオパーク計画（International Geoscience and Geoparks Program : IGGP）」として、ユネスコの正式事業となる見込みです。

この結果を受け、文部科学省において記者会見を開催することとなりましたのでご連絡いたします。

日 時：2015年11月19日（木）16：00～17：00

場 所：文部科学省記者会見室（東京都千代田区霞が関3丁目2-2）

発表者：特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク 理事長 米田 徹

日本ジオパーク委員会 副委員長 中田節也

アジア太平洋ジオパークネットワーク 諮問委員 渡辺真人

日本ユネスコ国内委員会 事務局次長 福田和樹

内 容：世界ジオパークのユネスコ正式事業化について

問合せ先：日本ジオパークネットワーク事務局

TEL:03-3219-2990 / 090-6794-9575 Mail: jgn_office@alpha.ocn.ne.jp

その他：正式事業化決定の速報は、JGN メールニュースにて配信します。

（登録先：<https://geopark.heteml.jp/maillist/mailling/lists/>）

* * * * *

ジオパークは、地質や地形などの地球活動の記録を保全して研究教育に生かすとともに、地質や地形のなりたちやそれらと人の暮らしの関わりを実感して楽しむところである。これまで、ユネスコが支援する世界ジオパークネットワーク（GGN）がこの仕組みを推進してきている。地質、地形など地球に関する素晴らしい自然遺産に加えて、大地につながるのある文化遺産があり、その良さを訪問者に楽しんでもらえるようなジオツーリズムの活動とそのための組織のある地域が、GGNの専門家の審査を受けてGGNに加盟できる。その国内版が日本ジオパークネットワーク（JGN）である。洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島、山陰海岸、室戸、隠岐、阿蘇、アポイ岳の8地域がGGN加盟ジオパーク、これらの地域を含む39地域がJGNに加盟している。

この度、2015年11月3日から18日（現地時間）の日程で開催されている第38回ユネスコ総会において、これまでユネスコの支援事業として行われてきたGGNの活動が「国際地質科学ジオパーク計画（International Geoscience and Geoparks Program : IGGP）」としてユネスコの正式事業となる見込み。

これにより、この正式事業化を契機とするジオパークの一層の発展と、この活動を通じてユネスコの目的である世界平和の実現に寄与されることが期待される。